



府中二中だより

令和5年度 「学びと思いやり」
スローガン 真心 真剣 真理

令和5年度
2月13日発行
令和6年2月号
府中第二中学校
校長 成清敏治
電話 361-9302

究極のボランティア 「国境なき医師団」

暦の上では立春を過ぎ、春になりました。暖冬の影響で早くも杉花粉が飛び、桜の開花が例年よりかなり早まるとの報道もあります。待ち遠しい春が間近です。日々、新たな階段を夢見ながら、頑張っていきましょう。

今日は、究極のボランティア活動である「国境なき医師団」について話をしたいと思います。今から約50年前にフランスの医師とジャーナリストのグループによって組織が作られました。1999年にはノーベル平和賞も受賞しています。全ての人々が医療を受ける権利があり、また医療の必要性は国境よりも重要だ、という信念に基づき行動しています。

組織の憲章（重要なことを定めた取り決め）には、「ボランティアで参加する国境なき医師たちは、自らの使命にともなう危機や脅威を承知し、医師団が用意することができる以外の、いかなる見返りも求めない」とあります。危険を承知で医療活動を行い、見返りは求めず、ただひたすら命を救う活動を行っているのが「国境なき医師団」です。例えば、2011年の東日本大震災の際は、医療の届いていない地域で翌日から緊急医療援助を行い、仮設住宅や医療施設の建設支援も行いました。政治的な動きよりもいち早く、迅速に行動する医師団にどれだけの人が救われたか限りはありません。

医師には、求められる資質・能力があります。これから社会に生き抜く皆さんに大きなヒントになるものです。いくつかを紹介します。

第一に、「異文化の環境に適応し、チームの一員として活動する能力」 活動が忙しく、生活環境が厳しい地域もあり、プライバシーが確保できない時もあるが、そんな環境の中でも、人間関係をうまく築いていく能力が求められます。**第二に、「ストレスに対処できる能力」** 援助の多くは、紛争地域又はその近隣で展開しています。厳しい状況の下、困難かつ予測のつかない環境の中で、うまく自分のストレスに対処していくことが求められます。**第三に、「柔軟性」と「適応力」** 活動場所の状況は急変することがあります。それに伴ってチーム編成や各自の業務内容も変える必要があります。現場のニーズに対応した活動を行う、極めて高い柔軟性と適応力が求められます。**第四に、「独立して働く能力」** 各自がプロフェッショナルとして、必要最小限の指示のもとで、自分の業務内容を整理し優先順位をつけながら率先して行動していくことが求められます。**第五に、「自信をもって取り組む姿勢」** 新しいことに挑戦する姿勢と、今まで直面したことがないような問題に対しても自信をもって解決していく姿勢が求められます。

社会の荒波を乗り切っていくには、柔軟性をもち誠実に対応する姿勢が必要であり、その人の人間性を表すものであると思います。国境なき医師団の方々も、人間として究極の美しい生き方を示しています。ウクライナでの戦争やガザ地区

においても、自分の身が危うくなる場面でも活動を止めません。「誰人も医療を受ける権利がある」との、堅い信念と強い哲学に裏打ちされた行動だからこそ、胸を打つものになります。

21世紀に入った約20年前、世の中はグローバル化が進み、国際的な協力体制ができていましたが、ここ数年は国家が自分の枠内で勢力争いをするような時代になりました。時代の先は不透明ですが、だからこそ、自分の可能性を信じていく生き方が大事です。中学校時代にそのような生き方を目指して頑張りましょう。

(2月13日 全校朝会：放送)

生徒の活躍（敬称略）

○水泳部 「第23回 年末水泳記録会」

男子400m自由形3位 笠原 颯太

男子200m平泳ぎ4位 平田 大輝

男子100mバタフライ3位 男子50mバタフライ4位 中村 優心

男子200m自由形4位 吉田 漣

男子100m個人メドレー2位 戸塚 珠貴

女子200m平泳ぎ3位 女子50mバタフライ2位 岩瀬 藍里

女子200m背泳ぎ2位 女子50m背泳ぎ5位 鈴木 初子

女子200m自由形2位 女子50mバタフライ6位 古賀 壱華

女子100m自由形6位 石井 沙輝子

女子100m背泳ぎ6位 相田 琴美

男女混合4×50mメドレーリレー2位 戸塚珠貴、岩瀬藍里、中村優心、古賀壱華

男女混合4×50mフリーリレー1位 古賀壱華、岩瀬藍里、中村優心、戸塚珠貴

校外学習（K組）

2月8日（木）、上野にある国立科学博物館と東京都庁45階の展望台に行きました。博物館では、日本館と地球館の展示を見学し、地球と人類の歴史について学びました。都庁では壮大な景色とともに「思い出ピアノ」の演奏に耳を傾けていました。月曜の積雪で一時はどうなるか心配しましたが、無事に校外学習を実施することができました。



新入生保護者説明会より

【保護者・地域と協働した教育活動】

来年度は、主にスクール・コミュニティ協議会が、地域と学校の橋渡しの役割として、★生徒の地域ボランティア（様々なボランティア要請が二中にオファーとしてあります）の応募・募集・引率等を含め、運営をしていただく予定になっています。さらに、★本校で行われる様々な学校行事に、地域や保護者の方々も参加していただき、生徒とともに学習する機会を設けたいと考えています。現代社会の課題を解決するため、また未然に防止するための機会を教育活動で実施しています。ぜひ「オトナの学び（仮）」と題して、来年度は保護者・地域の方々にも学校に気軽にお越しいただく機会を設けます。ご自宅での対話ツールにもなると思われま。改めて4月以降にお知らせをいたしますので、よろしくお願いいたします。